

# loco mail

ロコメール vol.3 2012/10/25

~いつも大変お世話になっております~

10月21日は社長のお誕生日でした♪無事に(?)42歳になった社長から、コメントを頂戴しました!

いつもお世話になりありがとうございます。  
皆様のお陰をもちまして  
会社も順調に成長しております。  
私自身も、学ぶ気持ちを忘れずに  
努力する所存です。  
今後とも宜しくお願い致します。

11月の休業日

3/4/11/17/18/23/25

※現時点での予定となるため、各種作業や配送の状況に応じて変更となる場合があります。

## <目をやるということ>

中国製の商品を取り扱っていると、あり得ないような不良品が良品として入荷されません。折畳み傘の布地に靴跡がクッキリとついていたり、箸に虫がついた上からニス塗ってあったり、ポーチに30cm近い髪の毛を挟み込んであったり・・・

どうすればこんな商品が出来るのか、と不思議で仕方が無かった時に思い出したのが、過去にTVで見た中国の縫製工場の様子です。布の鞆を縫うのに、手元を見ないで縫えるスゴ技として、目を瞑って縫ったり、後ろ向きに座って縫ったりする模様を放送していました。もちろん番組の構成上、「すごい！」をアピールするためのパフォーマンス的な要素もあるのでしょうか。しかし、「普段から手元なんて見ないよ、手が覚えるから見る必要が無い。」のコメントは、彼らの作業に対する基本姿勢や認識の甘さをよく表しています。

確かに、手作業の多くは、数をこなす経験を積み手が覚え(慣れ)、いちいち工程を考えながら作業する必要は無くなります。しかし、それは単に「工程を手が覚えている」にすぎず、「正確に商品を作る」という点では、最終的には目が全てということをお忘れはいけません。

中国の例は極端ではありますが、内職においても目をやる習慣を徹底することで防げるミスは多数あります。特に、集中力を長時間保つことは難しいので、常に目をやりつつ所要所で意識的に確認することが重要となります。弊社では手順に確認箇所を設け、かつ、ながら作業(特にTV)は厳禁としています。

また、目をやる際に重要なのは「ただ見てるだけ」にならないようにすることです。せっかく見ているのに間違いに気付けないのでは、意味がありません。目と意識の両方を向けること、それが真の「目をやる」ということになります。

## ☆☆☆新人研修中☆☆☆

ただ今、社員候補者が2名、研修期間として働いております。各種対応など、至らぬ点もあるかと思いますが、温かく見守って頂けたら幸いです。お気付きの点などございましたら、お気軽にお知らせください。